

# 令和元年度 第2回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員	
I 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 85.6%	A 80.9%	A 92.1%	A 83.8%	4コース制のもとに進められ、「真の文武両道」を達成するために、運動・学業双方の更なる向上を目標に一丸となっている。今後も生徒に対して、学校の特色を明確にしていく必要がある。
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 84.7%	A 80.4%	A 88.7%	A 85.1%	生徒や保護者、地域のニーズを確実に知るために、学校評価やPTA活動等から積極的に意見を得て、授業や諸行事の連絡の徹底、HPの充実、連絡体制の拡充等を行っている。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 81.2%	A 84.0%	A 83.4%	B 76.3%	左記項目について、概ね高い評価を得ている。今後も少人数制授業やアクティブラーニングの推進、ICT教育への取り組みなど、生徒が意欲的に学習に取り組める方法を模索し、更に強化・実践していきたい。今後は今まで以上に、従来の一方向的な授業から脱却し、生徒自らが考え、思考力や表現力の豊かな生徒の育成に取り組むことが課題である。
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 85.3%	A 90.0%	A 83.4%	A 82.5%	
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 82.1%	A 85.9%	A 87.7%	B 72.6%	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 83.7%	B 76.3%	A 93.6%	A 81.3%	生徒の生活態度は非常に落ち着いており、問題行動も少なく、生徒はメリハリを付けて学校生活を送っている。また、生徒会が中心となって、いじめ対策やスマートフォン利用について主体的に考えている。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 84.8%	A 84.8%	A 89.5%	A 80.0%	環境保健部を中心に、生徒の健康管理指導を行っている。また養護教諭2名が連携しながら、生徒のサポートを行っている。生徒の事故や怪我だけでなく、心のケアも含めて対応し、生徒も適切に活用している。
	8 生徒が安心安全に学校生活を送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 89.7%	A 87.5%	A 89.0%	A 92.5%	登下校時の正門前での旗振り指導や駅前のバス指導など、状況に応じて教職員を増員しながら細やかに対応している。自転車事故も軽減されてきたが、更なる交通安全指導を啓発していく必要がある。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 82.5%	B 79.9%	A 80.1%	A 87.5%	生徒の悩みや不安に対して、担任、学年、スクールカウンセラーが一体となり、早急に対応している。今後は職員研修などを通して教職員のスキルを高め、生徒対応・生活指導を積極的に実践していく。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 生徒が主体的に取り組める学校行事が用意されている。	A 81.5%	A 81.3%	A 89.4%	B 73.8%	学校行事は多彩で、学年行事やコース別行事なども多い。しかし現状維持ではなく、未来志向で生徒の成長を促す行事の設定や見直しを行い、今後も本校らしさが際立つ学校行事を検討していく必要がある。
		12 部活動が活発で充実している。	A 95.0%	A 93.5%	A 95.2%	A 96.3%	運動部、文化部ともに非常に活発で大きな成果を上げている。全国大会に出場している部活動も多く、大変盛んであり、生徒・保護者・教職員の評価も高く、地域への貢献をも非常に大きい。
	13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	B 77.9%	B 76.4%	C 69.8%	A 87.5%	「いじめ防止フォーラム」「いじめ防止会議」を実施し、生徒間での規範意識を高めている。教職員もいじめ行為に対して早急に対応し、指導に取り組んでいる。今後は生徒・保護者への理解を求める必要がある。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 81.7%	A 87.3%	A 84.1%	B 73.8%	土曜講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など計画的に実施している。生徒はKENDAI OASISを活用し、日々の自学自習に取り組んでいる。各種講座や補習について、さらに充実させる必要がある。
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 90.2%	A 89.9%	A 89.5%	A 91.3%	進路講演や高大連携事業、大学の先生による出前授業、職業人講話、大学見学会など進路行事の充実を図っている。今後は1年次より進路を考える機会を多く設け、生徒の進路探究を一層促す指導を進めたい。
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 83.1%	A 87.4%	B 76.9%	A 85.0%	生徒の進路希望に合わせ、進路相談や小論文指導を細やかに行っている。その成果も、昨年度の進路実績に反映され、確実に向上していると考えられる。今後は生徒の意欲喚起に努め、指導を行いたいと考える。
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 87.4%	A 87.7%	A 84.6%	A 90.0%	英語検定、漢字検定、数学検定、GTECなどの各種検定の受験機会を積極的に設け、事前指導を充実を図っている。今後は合格率の向上に努めたいと考える。
V 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 82.3%	A 83.2%	B 78.8%	A 85.0%	今年度はホームページやClassiを用いて、タイムリーな学校情報を発信してきた。保護者や地域に対して一層魅力的な情報を正確に発信できるように努めていきたい。
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	B 76.7%	A 86.2%	B 75.0%	C 68.8%	配布物が保護者まで確実に届かないという懸念は常にあったが、今回のアンケート結果を踏まえ、少しずつ改善している。保護者と教職員が正確な情報を共有できるように、努めたい。
		20 あなたは本校に入学して良かったと思っている	A 83.1%	A 83.1%	—	—	生徒の入学後の満足度は常に高い。その期待に応えるためにも、生徒第一に考えた学校運営に努めたい。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 87.7%	—	A 94.0%	A 81.3%	Classiも導入から3年目を迎え、利用度は高くなっている。本アンケートもClassiを用いて4回目であるが、回答率は過去最高である。今後は情報通信手段である以上、利用率が100%になるように、努めたいと考える。
		21 保護者も学校の教育活動を理解し協力的である	A 88.8%	A 88.8%	—	—	左記の結果からも、生徒は保護者・学校・地域を様々な大人から期待を受けていると自覚している。生徒の意欲を進路へ繋げるフォローアップにさらに取り組みたい。
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 84.8%	—	A 87.0%	A 82.5%	人間探究講座やPTA学年集会、情報交換会などPTAと教職員が連携した活動に取り組んでいる。今後は保護者が学校に様々な場面で関われる取り組みをより検討していきたい。

備考:

1) 2019年(令和元年)12月実施

2) 有効回答数-生徒1237名(84.1%)・保護者1106名(75.2%)・教職員80名(93.0%)